

金沢大学理工研究域 先端製造技術開発推進センター
平成29年度 第1回 ワークショップ

金属AMによる金型製作の現状と実加工事例

3Dプリンタとして名を馳せている積層造形技術は、2009年から呼称がAdditive Manufacturing (AM)に統一され、現在では樹脂、セラミックス、金属など様々な材料に適用されています。特に、金属粉末を用いたAM技術は、粉末床溶融結合法や指向性エネルギー堆積法など次々と新型装置が開発され、造形部品がそのまま製品になる、気孔部品が同時に製作できるなどの利点を活かした製品へ適用すべく各分野で模索しています。金属AMを用いた金型製作は、AMの特長を活かすことができる適用先として、当初から各種報告がなされていますが、現状どこまで適用範囲が広がっているのでしょうか。本ワークショップでは、金属AMを用いた金型製作における現状と課題について、本センターで取り組んできた内容を紹介すると共に、地方工設試やユーザ企業における金属AMの活用事例について紹介して頂きます。これらの話題提供を通じて、参加頂いた方々と意見交換を行いながら、金属AMによる更なる高機能部品製作の実現に向けて共に考えていきましょう。

日時

2017年6月14日(水) 14:00~17:00

会場

金沢大学 角間キャンパス

自然科学系図書館棟 1階 大会議室

参加無料
定員 100名

プログラム

- | | | |
|-------------|--|------------|
| 14:00~14:05 | 開会挨拶 | センター長 細川晃氏 |
| 14:05~14:25 | 先端製造技術開発推進センターの概要説明 | |
| 14:25~15:10 | 「金属AMを用いた金型製作の現状と課題」
金沢大学 理工研究域 機械工学系 教授 古本達明氏 | |
| 15:10~15:20 | ～ 休憩 ～ | |
| 15:20~16:00 | 「ハイブリッド金属3Dプリンタを用いた金型製作技術と活用事例」
三光合成株式会社 取締役 常務執行役員 満嶋敏雄氏 | |
| 16:00~16:40 | 「公設試における金属AMの活用支援について」
石川県工業試験場 機械金属部 専門研究員 高野昌宏氏 | |
| 16:40~17:00 | 質疑応答および意見交換 | |
| 17:00 | 終了 | |

技術交流会

会場：ANAホリデイ・イン金沢スカイ
金沢市武蔵町15-1

時間：18:30~20:30

参加費：6,000円

■ 申込方法

「平成29年度 第1回ワークショップ」と題記し、(1)氏名、(2)所属、(3)E-mailアドレス、(4)技術交流会への出欠をご記入の上、下記申込先までE-mailでお申込み下さい。当日受付も可能です。

■ 申込先・問合せ先

金沢大学 先端製造技術開発推進センター 事務局

E-mail: ramt@se.kanazawa-u.ac.jp

TEL: 076-234-4723

(担当) 理工研究域 機械工学系 教授 古本達明

【主催】 金沢大学理工研究域
先端製造技術開発推進センター



角間キャンパスへのアクセス

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/university/access>

● JR金沢駅から北陸鉄道バス利用の場合 360円（約30分）

金沢駅兼六園口（東口）6番乗り場発 91・93・94・97金沢大学行き

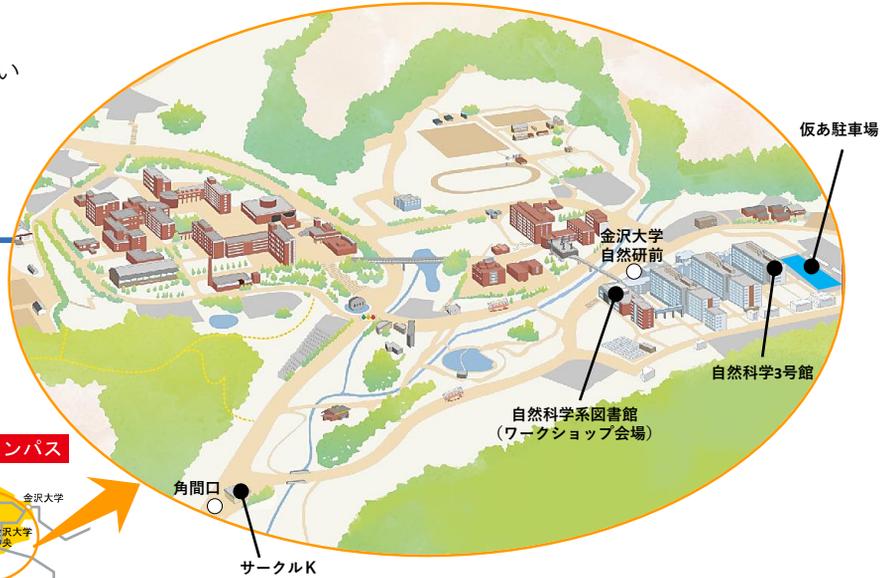
「金沢大学自然研前」下車

【北陸鉄道バス時刻】 金沢駅東口 12:12 発 金沢大学自然研前 12:42 着
 金沢駅東口 13:05 発 金沢大学自然研前 13:35 着

● JR金沢駅からタクシー利用の場合 「金沢大学自然研前」まで約2,500円（約20分）

● 駐車場について

「仮あ駐車場」をご利用ください



「仮あ駐車場」ご利用の場合は、
 最寄りの自然科学3号館入口より、建物内
 を通り抜け、自然科学系図書館1Fワーク
 ショップ会場までお越しください

ワークショップ会場案内

自然研前バス停

自然科学本館

自然科学本館
 正面出入口
 (G2F)

ワークショップ会場へ
 (G2Fから1Fへ上がる)



技術交流会

技術交流会会場へは各自で
 ご移動ください

会場：ANAホリデイ・イン金沢スカイ
 金沢市武蔵町15-1

【北陸鉄道バス時刻】

自然研前 17:36 発
 武蔵ヶ辻 18:03 着
 自然研前 17:43 発
 武蔵ヶ辻 18:11 着

自然科学系図書館